

一般国道258号大桑道路について
(補足説明)

平成25年11月1日

中部地方整備局

大桑道路と東海環状自動車道の役割分担について

- 大桑道路と東海環状自動車道は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を結ぶ主要幹線道路であるという面では重複しますが、事業の目的、道路構造、利用条件等がそれぞれ異なります。
- 大桑道路は主に沿線地域の交通、東海環状自動車道は高規格ネットワークを形成し広域的な交通を担うことが期待されています。

東海環状自動車道

【西濃・北勢地域周辺の広域道路ネットワーク図】

一般国道258号大桑道路

事業目的

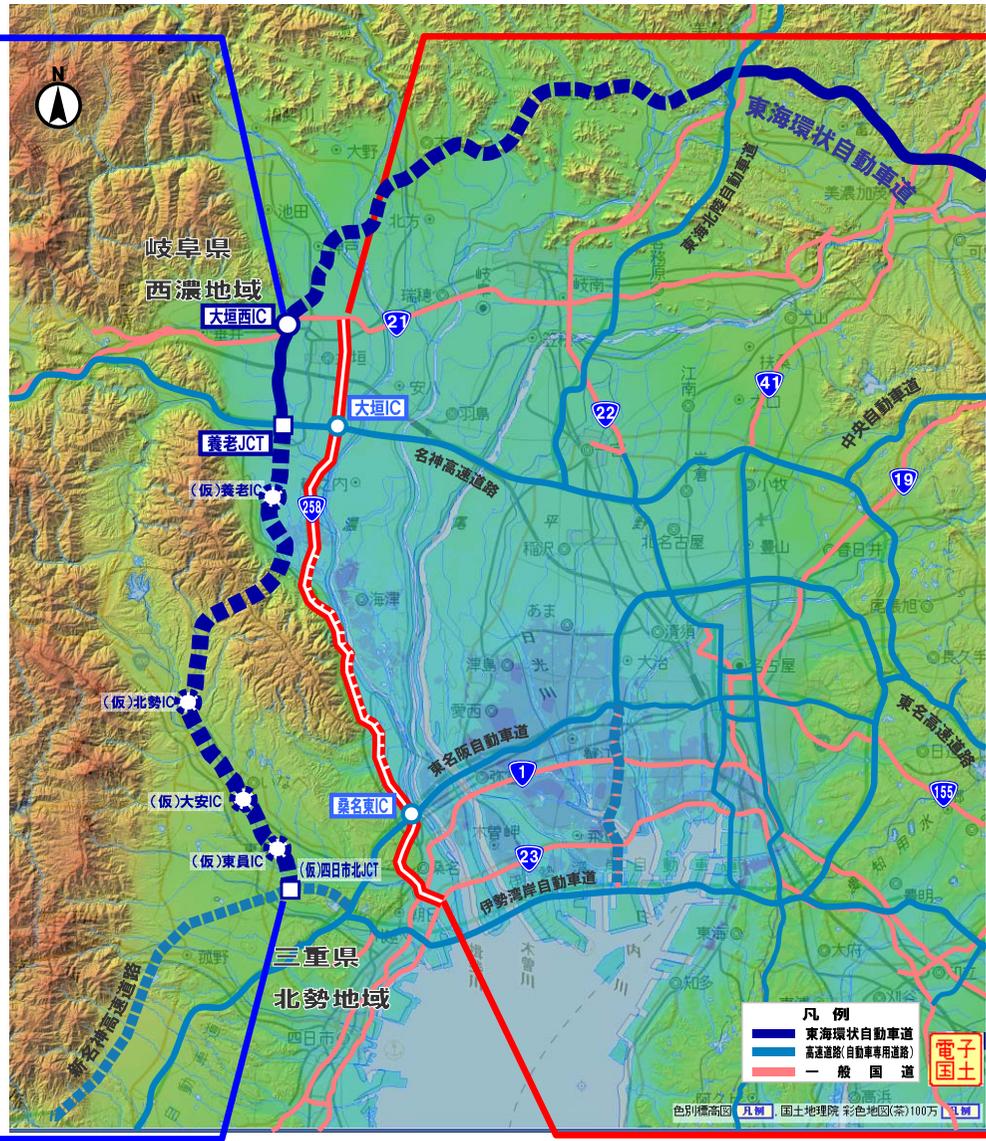
- ・広域ネットワークの構築
- ・産業競争力の強化
- ・広域物流ネットワークの拡充
- ・災害に強い道路機能の確保

構造規格等

- ・延長
豊田東JCT～(仮)四日市北JCT：約160km
⇒内大桑道路並行区間
大垣西IC～(仮)四日市北JCT：41.5km
- ・道路規格：1種2級
- ・設計速度：100km/h
- ・車線数：4車線

利用条件等

- ・自動車専用道路
- ・アクセスコントロール：あり
(IC・JCT数：7箇所)
※大桑道路並行区間



事業目的

- ・交通渋滞の緩和
(暫定2車線区間の渋滞)
- ・物流効率化の支援

構造規格等

- ・延長：41.6km
- ・道路規格：4種1級
3種2級
- ・設計速度：60km/h
- ・車線数：4車線

利用条件等

- ・一般道路(車道+歩道)
- ・アクセスコントロール：なし

※国土地理院 電子国土 色別標高図を基に作成

大桑道路と東海環状自動車道の役割分担について

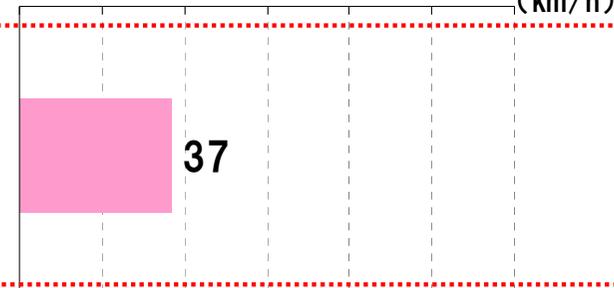
■ローカル交通を担う大桑道路と高規格道路である東海環状自動車道は、道路構造や利用条件等が異なるため、利用交通の平均旅行速度で約54 km/h、大型車混入率で約10%、平均トリップ長で約69kmの差がある。従って、2つの路線は地域内で役割分担し有効に機能する。

大桑道路

東海環状自動車道
大垣西IC～四日市北JCT(仮)

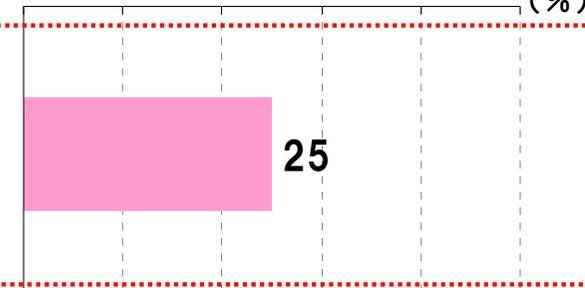
平均旅行速度

0 20 40 60 80 100 120 (km/h)



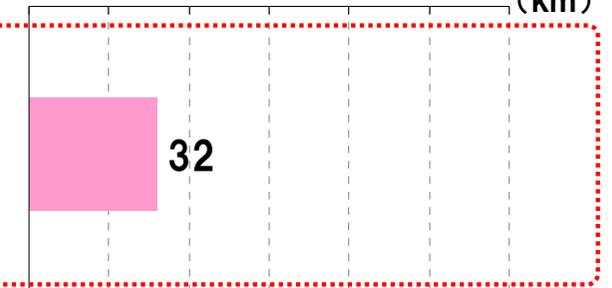
大型車混入率

0 10 20 30 40 50 (%)



平均トリップ長

0 20 40 60 80 100 120 (km)



大桑道路 L=41.6km(主に沿線地域の交通が利用)

※将来交通量推計に基づく集計



東海環状自動車道

大垣西IC～四日市北JCT(仮) L=41.5km(主に広域交通が利用)

※平均トリップ長

- ・利用交通における発着地間の走行距離(トリップ長)の平均値。
- ・平均トリップ長が短い距離であれば沿線地域に発着する交通の利用が主体、長い距離であれば、広域交通の利用が主体であるといえる。

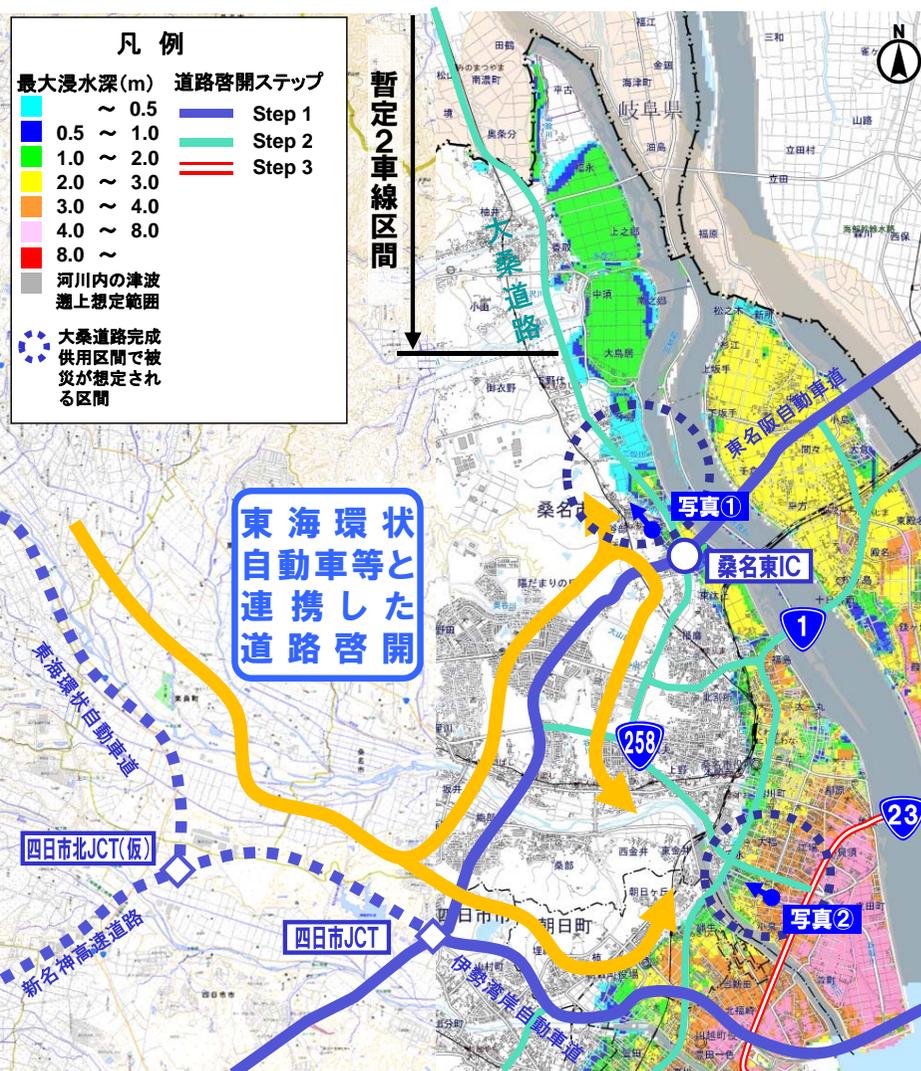


大桑道路と東海環状自動車道の役割分担について

- 大桑道路は、三重県による大規模地震に伴う津波被害想定において桑名市内の2箇所において被災することが想定されています。
- 被災時には、中部版くしの歯作戦により、東海環状自動車道等との連携によって道路啓開が展開され、東海環状自動車道等と一体となって、桑名市内をはじめ被災地域への救助活動・緊急輸送ルートとしての機能を担います。

◆大桑道路周辺地域の津波浸水予測

(満潮時かつ防潮堤等の施設がない条件下での予測結果)



※三重県防災対策部「平成23年度津波浸水予測図」を基に作成

◆沿道の利用状況



※平成25年10月 北勢国道事務所撮影



※平成25年10月 北勢国道事務所撮影

◆高速道路と連携した道路啓開ステップ

(中部版くしの歯作戦)



- | | |
|------------------------|---|
| ○ 国道事務所 | × 広域防災活動拠点 |
| ○ 高速道路管理事務所 | ◆ 民間物資拠点 ターミナル |
| ● 地方公共団体(県本庁舎及び県総合庁舎) | ■ 民間物資拠点 倉庫 |
| ● 地方公共団体 地方中心都市及び市町本庁舎 | ▲ 道の駅 |
| ⊗ 警察庁舎 | 道路啓開ステップ |
| ⊗ 消防本庁舎 | Step 1 ※東海環状自動車道
新名神高速道路は
開通後にStep1で機能
と想定 |
| ⊗ 港湾関係 指定特定重要港湾 | Step 2 |
| ⊗ 災害拠点病院 地域災害医療センター | Step 3 |

※『平成24年度「中部版くしの歯作戦」【道路啓開オペレーション計画】』
※平成25年5月中部地方幹線道路整備局資料を基に作成